

# 17年間駅に通い続けた犬 一匹の保護犬が教えてくれた感動の実話

## ストーリー

昭和39年、茨城県石岡市の東小学校に保護された一匹の犬。「タロー」と名付けられたその犬は、誰に教わる事なく、朝は校門で児童を出迎え、昼は一年生の教室を順番に回っていた。そんな賢い行動ですっかり学校の人気者になったタローだが、ある日から石岡駅までの2キロの道のりを往復する日課を始めるようになる。歩道橋を渡り、国道を歩き、踏切を渡り、石岡駅の待合室に入って座る。じっと改札口を見つめ、しばらくすると駅を離れて再び小学校に戻る。そんな行動を朝と夕方の1日2回、毎日続けた。タローは石岡駅周辺でも顔なじみとなり、駅の待合室でも駅前の商店街でも多くの人にかわいがられた。タローの駅通いは17年も続いたが、タローが駅で誰を待っていたのかは誰も知ることがなかった。



チャッピー



ダイ



チャビ

タローを演じる  
三頭のうち二頭は  
実際の保護犬

ISHIOKA **TARO** MOVIE

映画で街を元気に!!

PassMarket

日時/2025年6月14日(土) ①ミニコンサート 10:00~10:20 上映 10:21~12:02  
②ミニコンサート 14:00~14:20 上映 14:21~16:02

会場/多賀市民会館ホール [開場各30分前、上映時間101分]

入場料金/前売券 1,200円(当日¥1,400) ※前売券は時間指定券。座席は全席自由席です。

◆プレイガイド 多賀市民会館、日立市民会館、日立シビックセンター、ゆうゆう十王Jホール、デジタルチケット

◆電話予約先(予約受付期間5月12日~6月11日) ※デジタルチケットは上記の二次元コードで購入できます

☎ 090-1209-1776(青田)、☎ 029-226-3156(茨城映画センター/平日10時~5時)

●後援/日立市、日立市教育委員会、日立市社会福祉協議会、(公財)日立市民科学文化財団

●主催/映画「石岡タロー」日立上映実行委員会(青田) 協力/茨城映画センター

